

日文研

2018年
11月23日 [金・祝] 10時 - 16時
国際日本文化研究センター

日文研敷地内及び周辺は禁煙です。ご了承ください。

参加無料・申込不要
無料送迎バス有り

今年の一
般公開は時代劇。東映太秦映画村と長岡京市もタイアップ!!

京都と時代劇

京都・桂 日文研一般公開

細川ガラシャの美しさ

「いつ、誰が彼女を美しくえがきだしたのか」

登壇者◎小田豊前長岡京市長 / 井上章一 教授

フレデリック・クレインス 准教授 / 郭南燕 元日文研准教授

司会◎石上阿希 特任助教

中島貞夫に聞く

「時代劇映画を、今あえて世に問う訊、その魅力とは」

登壇者◎中島貞夫 映画監督 / 小川順子 中部大学教授 / 井上章一 教授

司会◎細川周平 教授

この他に多数イベントあり! 詳細は裏面をご覧ください。

10時30分～12時(10時開場)

細川ガラシャの美しさ

「いつ、誰が彼女を美しく
えがきだしたのか」

登壇者◎小田豊前長岡京市長/井上章一 教授
フレデリック・クレインス 准教授
郭南燕 元日文研准教授
司会◎石上阿希 特任助教

講堂 定員560名

江戸時代に細川玉(ガラシャ)は、忘れられてしました。今は時代劇のヒロインです。長岡京市は、その大河ドラマ化を願ってきました。何が、彼女を変えたのでしょうか。

京都・桂 日文研一般公開

京都と時代劇

11時40分～ 12時20分
12時45分～ 13時15分
13時50分～

教員によるセンター施設案内

各回定員30名 ※各回10分前受付開始/所要時間5分

日文研の教員がセンター内をご案内します(ご案内経路に階段があります)。

12時20分～12時50分

夢の大地への誘い

「地図と写真が語る満洲の実像と虚像」

講師◎劉建輝 副所長

セミナー室1 定員80名

夢の大地・満洲、日本人が抱いたこの幻想がいかに生まれ、膨らんだか。本講演では表象論的そのプロセスをたどり、近代日本の精神・思想史における満洲の位置づけを模索します。

13時5分～13時35分

歴史研究者が語る 時代劇の愉しみ方

講師◎木場貴俊 プロジェクト研究員

セミナー室1 定員80名

「時代劇って何?」「専門的な知識がないのに見ても大丈夫?」といった素朴な疑問を糸口にして、時代劇の魅力をいろんな角度から探ってみたいと思います。

14時30分～15時30分

1920・30年代日本の 映画と広告

講師◎前川志織 特任助教

セミナー室1 定員80名

1920・30年代にかけて大衆文化の花形となった映画。映画と広告をめぐるヴィジュアル・イメージを「映画を広告する」「映画で広告する」という二つの観点から眺めます。

先着800名
ご来場記念
オリジナルブックカバー(紙)
アンケートの回答者には
オリジナルクリアファイルを
プレゼント!

中島貞夫に聞く

「時代劇映画を、今あえて世に問う訳、その魅力とは」

登壇者◎中島貞夫 映画監督

小川順子 中部大学教授

井上章一 教授

司会◎細川周平 教授

講堂 定員560名

時代劇映画は、もうほとんど撮られなくなっています。そんな今、中島貞夫監督が、チャンバラ劇にいとみしました。その心意気にせまります。京都の映画力も、おたずねしたい。

展示等 10時～16時

- 舞台となった京の街
- ガラシャのお部屋
- 大衆文化研究プロジェクト関連展示
- 「アクションとしての江戸」
- 日文研の所蔵資料紹介
- 共同研究紹介のパネル展示
- データベース紹介&めりえコーナー
- 絵巻から飛び出した妖怪たちに色をぬろう!
- にちふれんこどもライブラリー
- 出版物閲覧コーナー
- 所員の著作販売コーナー
- 妖怪パネル・顔出しパネル
- 妖怪スタンプラリー

お弁当
(限定100食)
その他軽食
販売します

日文研とは…?

日本の文化・歴史を国際的な連携・協力の下で研究するとともに、外国の日本研究者を支援するという大切な使命をもった大学共同利用機関です。日本研究の国際的拠点としての役割を担っています。

主催：国際日本文化研究センター
共催：東映太秦映画村、長岡京市

ACCESS

日文研までの交通案内

阪急桂駅～日文研 無料送迎バス

往	阪急桂駅東口 ▶ 日文研			復	日文研 ▶ 阪急桂駅東口	
路	9:45 (2台)	11:00 (1台)	13:15 (2台)	路	16:15～随時 (4台)	16:30 (1台)

※台数に限りがあり、先着順でのご利用となりますことご了承ください。

路線バス

- 「桂坂中央」行きのバスにて「桂坂小学校前」又は「花の舞公園前」下車
- 阪急桂駅西口から 市バス「西5」「西6」乗車(約30分)
 - 京阪京都交通バス「20」「20B」乗車(約20分)
 - JR京都駅(烏丸口)から 京阪京都交通バス「21」「21A」「26」乗車(約45分)
 - JR桂川駅から ヤサカバス「1」「6」乗車(約30分)

※日文研内に来場者用駐車場はありません。
周辺にも駐車スペースはありませんので、マイカーでのご来場は固くお断りしております。
※お身体の不自由な方で、マイカーでのご来場を希望される場合は事前にお問い合わせください。



お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 情報広報課企画広報係
〒610-1192 京都市西京区御陵大板山町3-2
TEL (075)335-2012(直通) FAX (075)335-2091
E-mail kouhou@nichibun.ac.jp

日文研WEBサイトから詳細をご覧ください。 <http://www.nichibun.ac.jp>

